

THANKS
BOOK!

ホームスタジアム照明改修プロジェクト

LIGHT X FUTURE

あしたか

愛鷹競技場の改修検討経緯

ホームスタジアム照明改修
プロジェクトご支援結果報告

2022.11.20新照明点灯式
&キーマンインタビュー

照明改修を経て次のステージへ
セカンドカーブをみんなで

キーマンインタビュー連動
ドキュメンタリー動画はこちらから



ご挨拶 ～照明改修を機にセカンドカーブを描く～

2022年中にホームスタジアム・県営愛鷹広域公園多目的競技場の夜間照明を照度1,500ルクス以上に改修できなければアスクラロ沼津は2023年以降のJ3ライセンスが取得できなくなってしまう…

2021年12月、関係企業・団体様ご出席のアスクラロ沼津2021シーズン報告会にてJリーグライセンス喪失危機をご説明し、皆様のご支援を募りながら、クラブ自ら改修する方針を発表しました。

多くのファン・サポーターの皆様、企業・団体様に話題にいただいたこともあり、2022年2月からのクラウドファンディングや沼津市企業版ふるさと納税では大変多くのご支援が集まりました。

6月、沼津市様の補助決定により改修費約1億円の目途が立ったことから、10月には工事を実施し、11月20日、2022シーズン最後のホームゲームにて新照明の点灯式を挙行、当初の計画通り今後の管理面も踏まえ設備一式を静岡県様へ寄贈したところであります。

2017年以降、施設所有者の静岡県様と改修協議を重ねて参りましたが、築25年以上経過する本競技場の改修には技術的な課題が多く、沼津市様の複数年調査により、ようやく2021年秋に概ね課題を解消することができました。



長らく改修自体が可能か不透明だったこともあり、ファン・サポーターの皆様やご関係の皆様にはライセンス取得方針をご説明できず、ご心配をおかけしておりました。

この度のご支援の数々は、我々アスクラロ沼津の可能性、クラブの目指す未来へ投資いただいたものと考えています。「2022愛鷹照明改修」をターニングポイントとし、今後J2にふさわしいクラブとなるべく、すべての面においてステップアップを図り、光照らす未来へ向け邁進して参ります。思い描くは、クラブエンブレムのようにふたたび上昇気流となるセカンドカーブです。

本当に多くの方々にご支援・ご尽力を賜りましたことクラブ一同心から御礼申し上げるとともに、引き続きアスクラロ沼津にご声援いただけますようよろしくお願い申し上げます。

アスクラロスルガ株式会社 一同



改修プロジェクト～完了までの流れ～

- ▶2017年～ 県営愛鷹広域公園多目的競技場の夜間照明を2022年中に500ルクスから1,500ルクスへの改修ができなければ23シーズン以降のJリーグライセンス自体が取得できない。
 - ▷調査・調整期間
- ▶2022年～ 2022年初から寄付を募りクラブ自ら改修工事を実施、無事来年のJ3ライセンスが取得できた。





2017年
3月

優勝
争い

アスクラロ沼津 J3リーグ初シーズン

静岡県営愛鷹広域公園多目的競技場はJリーグクラブライセンス制度・J2スタジアム基準を満たしておらず、J3で優勝してもJ2への昇格はできない状況だったもののチームは奮闘。優勝争いの末、J初年・2017シーズンを3位で終えた。

J2改修を見据えた
基礎調査

2017年
2018年

愛鷹競技場 全体調査(沼津市平成29年度委託)

J初年の好成績も後押しとなり、ホームタウン・沼津市が愛鷹競技場改修の技術調査を専門事業者へ委託。J2ライセンス取得に必要な全6項目(右表)について改修自体が可能かも含め施工案を検討。

※芝生エリアへの安全な座席設置構造検討、既存給排水網に合わせたトイレ・諸室整備案の検討、既存電気設備容量の確認、電光掲示板の既存構造枠利用検討、全スタンド屋根の設置検討、搬入検討等多岐に渡る

2019年

J2改修を見据えた検討や静岡県協議を行っていたが、
期限が迫り技術課題も残されていた照明に絞って
検討を進めることとした。

2020年

愛鷹競技場 照明改修詳細調査(沼津市令和2年度委託)

未検討部分や課題検討

- 1 状態の把握
 - 重量物載せ替えによる建物・屋根構造への影響や安全性シミュレーション
 - 配線や投光器を固定する架台の劣化具合(そのまま使えるかが工法・費用に直結)
 - 電気設備容量の確認 など
- 2 Jリーグ以外の基準(陸上やJIS)との調整
(既存の架台を使う制約の中で各基準充足を目指すため難易度が高い)
- 3 現実的な工期・金額で実施するための検討
- 4 改修後の電気使用量・電気料金シミュレーション など

大判の紙図面から数字
を拾い電子図面化し、
シミュレーションを行
うため時間がかかった

照明改修費用
1億円と見積もる

2021年
秋

照明改修のネックになっていた
技術課題に目途がつき対外的アクションに着手

2021年
12月17日

2021シーズン報告会でクラブ自ら改修する方針を発表

- ① クラウドファンディング開始
- ② 沼津市企業版ふるさと納税での法人寄付
- ③ 寄付口座への寄付

ご支援の呼びかけ

2022年
2月以降～

J2ライセンス取得に必要な愛鷹・改修項目

1 愛鷹競技場のJ2ライセンス基準適合には6つの改修項目がある

愛鷹競技場 J2基準適合への改修項目			状況	
①	映像装置	電光掲示板 → 大型ビジョン	完了	例外規定2で 免除される
②	観客席	5千席 → J2:8千席以上 J1:1万席以上	未完了	
③	観客席全てを 覆う屋根	メインスタンドのみ → 全スタンド (②を満たすため)	未完了	
④	トイレ	洋式化、増設など	完了	免除されない 必須項目
⑤	照明	500ルクス → 1,500ルクス以上	完了	
⑥	諸室	ドーピング検査室整備、審判更衣室シャワー設置、 医務室整備など	未完了	

2 ③「観客席全てを覆う屋根」は現実的でなく(平成29年度沼津市調査で40億円と推計)、
J2ライセンス取得には「屋根」が免除される「例外規定2」を探るしかない

3 「例外規定2」は、基準を満たす新スタジアムの建設を約束した上で
現スタジアムの必須項目のみ改修することで、暫定的にJ2ライセンスを取得できる規定

※暫定ライセンス取得後J3優勝か準優勝でJ2に昇格できるが、そこから3年以内での建設計画提出、5年以内の完成(少なくとも着工)がで
きなければ以降交付されない。新スタジアムの設置主体は官民間われない。

4 ただし⑤照明基準は2023シーズンまでに
満たせなければ以降のJリーグライセンス
自体が取得できなくなる



既存の投光器、全330台をLEDタイプに交換。

今回
無事完了!

照明改修の技術検討や静岡県協議

Jリーグ照明基準1,500ルクスは
愛鷹競技場の想定する必要照度を
はるかに超える水準

県内の他Jリーグクラブは
静岡県施設をホームスタジアムとしておらず
県は同様の支援を実施していない

照明改修期限が迫る中、
静岡県による改修は困難

興行上必要とするクラブ
自らの改修を決意

1 クラウドファンディング

2022年2月3日から3月31日までの間、目標3,000万円を目指しクラウドファンディングを実施しました。地元産品や沼津をモデルとするアニメ『ラブライブ!サンシャイン!!』とのコラボリターンが大きな話題となったこともあり、地元の方だけでなく全国のJクラブのサポーターや沼津に縁のある方など約2,200人の方から4千万円以上のご支援が集まりました。

クラウドファンディング
サイトはこちら



■総支援額レポート



3月下旬に発表したコラボリターンが追い風となり、目標達成。その後も支援が伸びた。

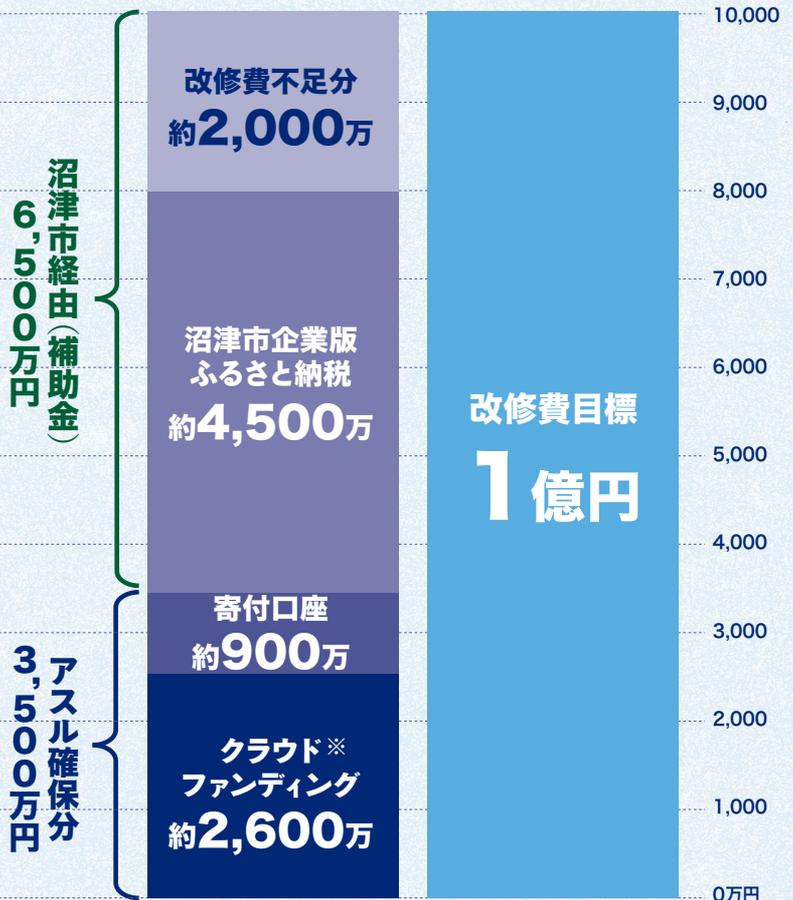
2 沼津市企業版 ふるさと納税での法人寄付

沼津市以外に本社を置く7社から照明改修支援として合計約4,500万円の寄付が集まり、沼津市経由でクラブにご支援いただきました。

3 寄付口座への寄付

インターネットでのクラウドファンディングは難しいという方々からクラブ口座に合計約900万円の寄付が集まりました。

■照明改修プロジェクト 配布チラシ



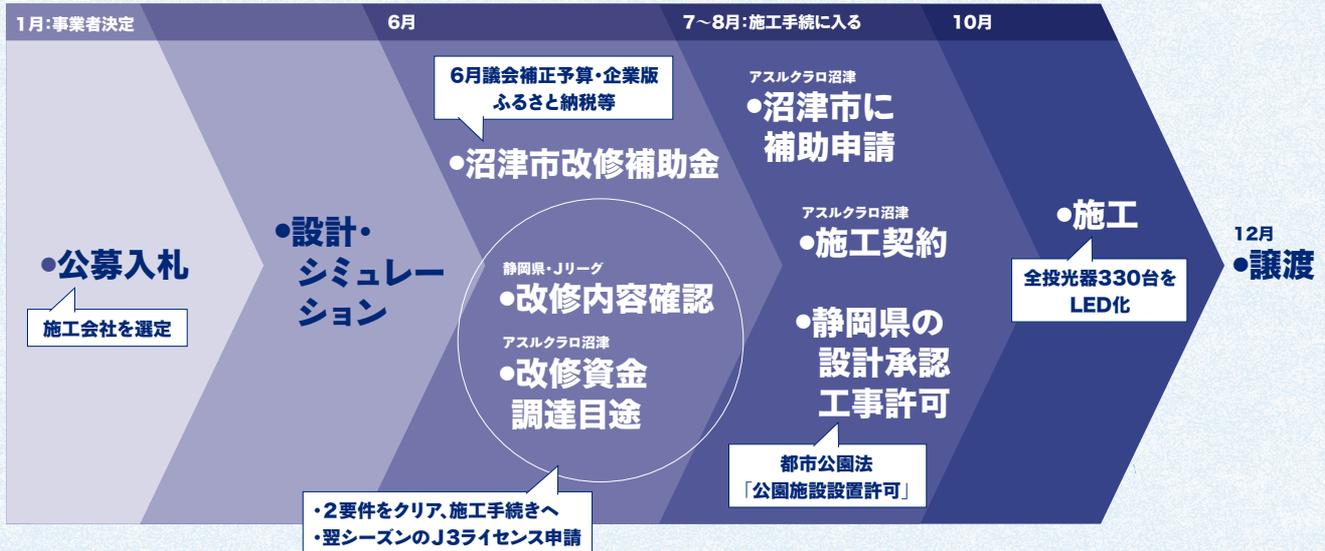
改修費目標1億円の
目途が立った

※クラウドファンディング4,000万円、経費35%で試算 35%=10%サイト手数料、25%仕入れ・発送委託

スケジュール

静岡県・沼津市・Jリーグ・施工会社など、各者と連携しながら施工を進めることができました。

2022年



ホームスタジアム照明改修プロジェクトを振り返る



点灯式まで一貫して 改修プロジェクトに携わる

アスルクラロスルガ株式会社 河本 広大

沼津市職員として2017年度からアスルクラロ沼津のホームタウン支援業務を5年間担当しました。当初から愛鷹競技場の改修調査に携わり、アスルの魅力を通して沼津を発信するシティプロモーション・「沼津マッチ」・シャレン活動などもクラブと一緒に取り組んできました。

2021年秋、照明改修の技術課題に目途が立って以降約1年のプロジェクトを点灯式まで含め完結させたい思いから、沼津市を退職。クラブの立場で完了を迎えることになりました。

「人や企業が定期的集まるホームゲーム、誰でも楽しめるスポーツの機会・場づくり、社会価値を地域で作るシャレンなど、様々な面でハブになること

ができる」こんな大きな可能性を持つ地元Jクラブがなくなっては困るという思いでした。

全国で戦うチームはまちの夢を託せるシンボルでもあります。楽しめる、熱くなれる、話題にできる地域共有のものは、これから人口減少の進む県東部の未来になくてはならないものです。

1年前は資金が集まるかまったくわからない中でのスタートでしたが、多くの方々に関わっていただいたことでここまで来ることができました。本当にありがとうございます。地域と一緒に、次はJ2ライセンスです!



2022.11.20新照明点灯式

&キーマンインタビュー

それは、未来に続く希望の光

LIGHT FUTURE

2022年11月20日 雨の中スタートした点灯式。

この光はアスクラロ沼津が輝く希望の光であり、未来を照らす光
J2への扉を開く第一歩が始まった。





アスルクラロ沼津が 静岡を代表する 日本を引っ張っていく クラブになるように



Jリーグチェアマン
野々村 芳和

点灯式おめでとうございます。様々なサポートのおかげでなんとかこの日を迎えることができました。

私自身も静岡県清水区出身で、サッカーに育ててもらった人間として、静岡にはサッカーで『ほかの地域とは違うな』というところを見せて欲しい思いが強いです。

現在静岡にはJリーグクラブが4クラブあります。アスルクラロ沼津も静岡を代表する、日本を引っ張っていくクラブになるよう願っています。

これからも週末、選手・サポーターみんなで良い“作品”を作っていけるように頑張りたいと思います。Jリーグもしっかりとサポートしていきます、一緒に頑張っていきましょう！





アスルクラロ沼津は沼津の誇り 静岡県東部の誇りです！

衆議院議員
かつまた 孝明



一緒に地元・沼津を 盛り上げたい！

アスルクラロ沼津全力応援マネージャー
藤木 由貴

私がこんなにサッカーに興味を持ち好きになり、魅力に気付けたのは間違いなくチームのおかげだしこれからもアスルクラロ沼津を応援していきたいです。そして、一緒に地元・沼津を盛り上げていきたいと思っています。

それぞれの環境で頑張っている姿や日々挑戦している姿は沢山の人の刺激になり、試合の度にパワーを与えています。

そして何より、サポーターの皆さんの想いはとても強く温かくて毎年一緒に応援している私も力をもらっていてとても感謝しています。

来シーズンもその先もまたアスルクラロ沼津の歴史を見守りながら応援したい、多くの人に知ってもらいたいです。全力応援マネージャーとしてももっともっと勉強していきます。よろしくお願いします！



地域と共に歩んできた成果が
この照明に込められています。
これからも応援して参ります！

静岡県知事
川勝 平太



「全力で熱い試合をする」 僕たちがまずすべきこと

アスクラロ沼津
MF #15 菅井 拓也

Jリーグからこのクラブがなくなってしまうかもしれない、そう知らされた時はチームの歴史を知る者として非常に大きな危機を感じました。

J3に昇格した初年度、2年目はいい成績を残せましたが、今はなかなか成績を残せていない。僕らが上位で優勝争いできるようなチームだったなら、ここまで直前になってJ3ライセンスの問題が大ごとにならなかったかもしれない。いち選手として、そんな責任も感じました。

選手としてプレーをするだけでなく、それ以上にチームのために何が出来るのかと模索する日々。

飲食店などに照明改修プロジェクトチラシを置かせてほしいとお願いにいった際には暖かい言葉をかけてもらい、ジュニアスクールに通っている子どもからは自分のお小遣いを使ってほしいと手渡されました。日頃からチームを支えてくれている地域のみなさまの応援を今まで以上に強く感じた数か月でした。地域とクラブの距離が近く、それをダイレクトに感じる事ができとても有難かったです。

また、沼津、静岡県東部のみならず、日本全国のサッカーファミリーからの支援もありました。この危機が結果として、多くの方にクラブを知ってもらうきっかけとなり、その力が結集され、前に進むことが出来ました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

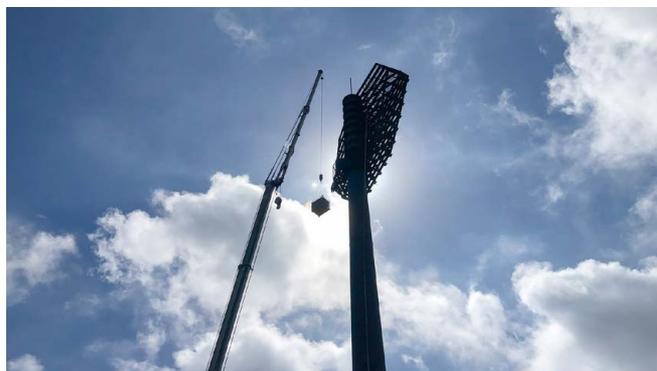
「勝って愛されるチームではなく、愛されて勝っていくチーム」脈々と受け継がれるアスクラロ沼津のスピリット。たくさんの方に応援していただけた一方で、まだまだ地域の中でも知られていないと気づききっかけにもなりました。今まで以上に多くの方に愛されるチームを創っていく、そして今回、協力していただいた方々の想いに応えていくのかを考え、行動していきたいです。

ただ、なによりも選手として全力で熱い試合をすること、そして一勝でも多く勝ち点を取ること、それこそがまず一番にしなければならないことだと思っています。

キーマンインタビュー連動
ドキュメンタリー動画はこちらから







26年前に灯した照明、再び自分達の手で

岩崎電気株式会社 静岡営業所 所長 木川 篤志

やっとここまで来たな、という感じです。

弊社が愛鷹広域公園多目的競技場に照明をつけたのは26年前の事です。若かった私も携わりました。今回の照明改修の話聞いた時「この事業に関わりたい。再び自分達の手で照明をつけたい」と真っ先に思いました。国内外のメーカー、ベンチャー企業、様々なライバルがいる中で「自分達こそが責任をもって果たせる仕事だ」と自負のようなものを抱きました。

照明業界で76年の歴史がある弊社でも、クラウドファンディングによる資金調達での受注は未経験。受注金額が決まらない中での着工準備。世界中でおこっている半導体不足による部材納期遅れへの懸念。そんな状況下でもJ3ライセンス獲得のための期限は決まっている。すべてが不透明で、不安とプレッシャーは相当なものでした。

技術的な面でも、既存設備(配線や架台という照明機器を固定する枠)を活かしながら各基準を満たすように改修をしなければならないという制約が工事を難しくしま



した。全部で330台ある照明をすべてLEDに置き換える工事ですが、照明の機器の大きさや重さを現状以下に抑え、そして、もちろんこれまでの3倍の照度である1,500ルクスを確保できなければ、基準を満たすことはできません。非常に細かな調整が求められる工事でした。

「クラウドファンディングで支援された方を裏切りたくない、多くの方の想いを無駄には出来ない」その想いだけで気持ちを奮い立たせ、突き進んできました。やっとみなさんにお見せすることが出来て、ほっとしています。

様々な苦難を乗り越えてついに改修されたスタジアム照明。新たなピッチ上の光景が、そこに集う人々の未来をも照らす光になることを願っています。



「やるしかない」我々の決意と使命

アスルクラロスルガ株式会社 前代表取締役社長 渡邊 隆司

1年以上前になりますが、改修費用1億円という金額を聞いた時には「本当に出来るのだろうか」と危惧の念を抱かずにはいられない日々を過ごしました。

2021年の12月17日、2021シーズン報告会にてスポンサーの皆様、選手全員にクラブの現状を伝えました。まずは3,000万円を目標にクラウドファンディングから始めると発表しましたが、我々規模のクラブにとっては、大きすぎる目標値…。

しかしやらなければJ3にいけないという使命感のもと「もうやるしかない」と清水の舞台から飛び降りる決意で腹をくくり、飛び込んだんです。

施設が建設から25年以上経過しており技術的課題も多く、沼津市様の助力も得ながらですが、施設所有者の静岡県様との調整は数年一進一退を繰り返す状況が続く、照明整備の期限間際まで動き出しに時間がかかってしまったことはみなさまに大変申し訳ない気持ちでした。結果、2月3日からスタートしたクラウドファンディングでは、約2,200人に上る皆様から4,000万円を越える大きな金額が集まりました。

また、沼津市外に本社を置く企業様からは沼津市企業版ふるさと納税に約4,500万円の支援が集まりました。特に沼津出身の社長様始め、多方面からのご支援にも助けられました。

小さなお子様がお小遣いを持ってきてくれた例もあります。地元の方だけではなく、他クラブのサポーターや沼津に縁のある方々から本当に温かい言葉をいただき、皆様に感謝を申し上げたいと思います。

クラブ社長に就任して5年8ヶ月、3年目からはコロナに見舞われ、我々スポーツクラブにとっては非常に厳しい問題でした。そんな中、なんとか照明を設置する事ができ、第1ステージはクリアしたと思っています。

次の第2ステージですが、この光輝く照明は「未来を照らすステージ」だと思っています。

スクール生約1,600名の子どもたちが、将来明るい地元の期待の星になるよう、これからもアスルクラロとして頑張りたいです。

ここで私は社長を退任しますが、後任にはその未来を託したいと思っています。

様々なスポーツ資源を持つ沼津、アスルクラロが

沼津市 市長 頼重 秀一

照明改修工事を終えて

無事にスタジアム照明改修を終え、J3ライセンスが交付されて本当によかったです。様々な方から愛ある支援をいただき、改めて、心から感謝しています。

愛鷹競技場は静岡県が所有しているスタジアムですが、今回の照明問題について、これまでホームタウンとしても出来得ることをやってきました。しかし『照明改修金額、総額1億円』と聞いた時には、正直高い壁だなと。クラウドファンディングの状況をハラハラしながらチェックする日々を過ごしました。

そんな中、沼津市企業版ふるさと納税では、市外に本社を置いた皆さんの企業から多額の寄付をいただきました。サポーターや沼津市はもちろん、他チームのサポーター、さらには「聖地・沼津のために」とラブライブ!サンシャイン!!のファンの方々も応援しようとなりました。様々な方が自分のことのように応援する、このような流れは大変素晴らしいもので、アスルクラロ沼津が持つコアな魅力を再認識しました。



沼津駅ビル2階沼津観光協会案内所『全力応援!!アスルクラロ沼津サポーター企画展示会』を市長自ら訪問。

アスルクラロ沼津に 今後期待するもの

Jリーグの試合が身近で開催されることで、市民の皆さまの観戦体験の創出のみならず、市内企業の社員同士の交流や、活動の場にもなります。また、アウェイチーム



沼津市役所にて、選手が主体となりホームスタジアム照明改修プロジェクトのチラシを配布した。



のサポーターがたくさん沼津に来てくれますし、チームがアウェイ遠征した時には、「沼津」の名前を掲げての活動は沼津や県東部のPRになります。選手が活躍する姿は地域に勇気、感動をもたらし、子ども達に憧れの存在にもなります。市民のみなさまも、改めて地域を見つめなおすきっかけとなり、沼津を好きになり愛着を持ってもらえると思います。

近年、人口減少が深刻化している中、定住人口対策と並んで、交流人口を増やす取り組みが大切になります。アスルクラロ沼津というJリーグチームが市内にあることで沼津の交流人口・関係人口に大きく寄与するものと信じています。

また、アスルクラロ沼津はこれまでも、青少年健全育成、教育、観光振興、地域福祉など様々な分野で活動をしています。

今回の照明改修プロジェクトを通じて、アスルクラロ沼津への期待値の高さを感じ、静岡県東部唯一のJチームとして一層の貢献を期待しています。

核となり地域を発展・活性化させていく



沼津市 市長 頼重 秀一

スポーツを通じたまちづくりとは

現在、沼津市は『ウイズスポーツ[※]』を掲げています。2023年3月に新総合体育館が完成し、この新たな拠点を沼津市民文化センターと連携して、スポーツ・文化・芸術の殿堂となっていくことを目指します。また、沼津には様々なスポーツや、アクティビティができる場があるので、スポーツツーリズムをはじめ、それら地域資源とスポーツを結び付けて地域を発展・活性化させていきたいと考えています。

そのような中、アスクラロ沼津には、まちづくりにおいて様々なまちの要素をリンクさせていく核となってほしいと思っています。

スポーツへの思い

スポーツに関わる競技者だけでなく、応援する人、観る人、支える人が一体となって盛り上げていく、『気運を醸成』する上で、スポーツ以上に素晴らしいものはないかもしれません。スポーツには、関わるみんなを幸せにする大きな力があると信じています。

アスクラロ沼津を核に、沼津にあるスポーツ資源を存分に活用し、活気ある元気な沼津にしていきたいです。

※ウイズスポーツ：スポーツで暮らしが充実しまちも賑わう、といった沼津市が推進するスポーツによるまちづくりのコンセプト。

照明改修を経て次のステージへ

DNA OF AZ

MISSION

富士山の麓
静岡県東部地域から世界へ

日本一へ そして世界一へ

アスクラロの理念

地域コミュニティの中核として、多世代・多趣向・多種目にわたる
生涯スポーツ活動及び地域文化振興活動を行う

青少年をはじめとする地域住民に心身の健全な育成を行う

地域の皆様と共に、笑顔ある明るく豊かなまちづくりに寄与する

国際社会での積極的な交流を図り、
富士山の麓から世界のスポーツクラブを目指す

STYLE

ホームゲームがクラブの根幹
感動空間を創造する！

選手・サポーター・クラブが熱く一心に創り出す試合を通して、
富士山の麓・静岡県東部に集まった全ての人と感動を共有する

>> 生活の中にアスクラロがある

セカンドカーブをみんなで

UL CLARO

VISION

2025年までにJ2リーグに・2033年までにJ1リーグに
ふさわしいクラブとなる

目指す3つの姿

1 富士山の麓・静岡県東部
地域に愛され炎心として
地域の光となり、無くてはなら
ない誇れるクラブであること

2 規律があり、常に感動を創
造する姿勢を持ち続ける
チームであること

3 身近で信頼される、明るく
元気なスタッフであること

5つの重点項目

トップチーム
強化

試合日の
活性化

持続可能な
クラブ
安定運営の
確立

社会連携活動
継続・強化

J2・J1
ライセンス
取得

VALUE

全力

物事を始めた時の喜び、初心を忘
れず、あくなき向上心と共に、達成
の為の計画性を持つ。責任感を持
ち、今を大切に全てにスピード感
を持って取り組む。

共越

クラブの一員として規律を守り、目標
に向かってお互いを尊重し協調性
(オープンマインド)を持って接する。
お互いが助け合う+α(1.1)行動の
中から結束が強化され、共に壁を
乗り越える。

誇り

人々に夢や感動を伝える為、クラ
ブの一員としての自覚と細部まで
拘り、迸る情熱を持つ。
プロフェッショナルな想いが熱伝
導され、クラブのプライドも強化さ
れる。

富士山の麓
静岡県東部地域から世界へ

日本一へ そして世界一へ

2033年
J1 LEAGUE

J1リーグに
ふさわしいクラブ

2025年
J2 LEAGUE

J2リーグに
ふさわしいクラブ

2023年以降の展開のため
ホーム愛鷹の照明を改修



www.azul-claro.jp

アスルクラロ
ウェブサイトはこちらから



ホームスタジアム照明改修プロジェクト
クラウドファンディングサイトはこちらから

